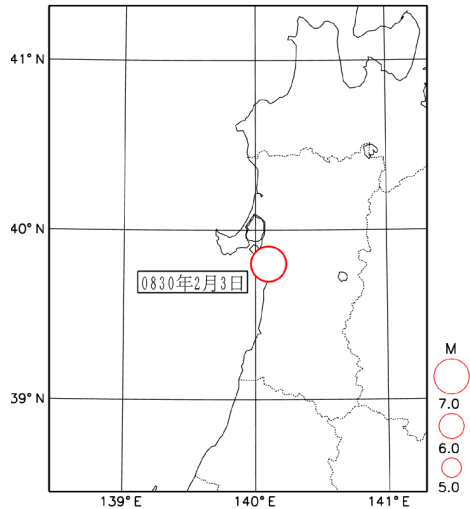


830年(天長7年)2月3日の出羽の地震による災害

発生日時		830年2月3日(天長7年1月3日)	資料	
震央地名 地域(名称)		出羽 (北緯39° 48′ 、東経140° 00′)	 ○: 830年2月3日の地震の震央	
震源の深さ		不明		
地震の規模 (マグニチュード:M)		7.3		
県内の震度				
災害発生市町村				
地震概要				
被害概要				
秋田の城郭・官舎・四天王寺丈六仏像・四王堂舎ことごとく倒れる。城内の家屋また倒れ、百姓の圧死15、死体折損せるもの100余名。地割れ多く、その大なるものは長さ20～30丈(60～90m)、雄物川の水涸れて溝のごとなり、添川(現旭川)・霜別(現太平川)の河岸崩れ、川を塞ぎ、河水が氾濫した。[参考:福留高明「古代秋田城下の大地震」、出羽路、No.119(1997)] (最新版 日本被害地震総覧 による)				